

デイサービスひなた

第11回 運営推進会議 報告書

開催日時：令和3年8月

開催方法：新型コロナウイルス感染拡大防止としまして、書面にて行わせて頂きました。

出席予定の方に、デイサービスひなたの活動等の報告書を郵送させて頂き
返信ハガキを同封し、回答を頂きました。

参加者：

区分	人数	区分	人数
市役所職員	1名	地域住民の方	3名
事業所	3名	計7名	

議題：①職員紹介

②デイサービスひなた 活動及び レクリエーションの報告

③利用状況、ヒヤリハット報告

④デイサービスひなたの紹介

① 職員紹介

介護士、看護師を写真付きで紹介させて頂きました。

② デイサービスひなた 活動及び レクリエーションの報告

1月：書き初め・七草粥作り

お正月と言えば、書き初め！「元気」「努力」「絆」など、素敵な言葉が多かったです。
七草粥を利用者様と一緒に作り、無病息災をお祈りしました。

2月：節分（五目豆作り）

年の数だけ豆を食べると、1年間健康に過ごせると言いますが・・・

それでは、ひなたの利用者様、お腹いっぱいになってしまうので、笑

五目豆を作り、たくさん豆を食べて頂きました。この時期、コロナウイルスの影響で
利用を自粛される利用者様が多かったです。

3月：桜餅作り、よもぎ餅作り

3月もコロナウイルスの影響で利用を自粛される利用者様が多かったです。利用者様の
リクエストで桜餅作りを行いました。ひなたの敷地内に、よもぎが生えているので、
収穫するところから利用者様と一緒にいき、一緒に作りました。

4月：お花見ドライブ

換気・消毒を行いながら、お花見ドライブへ出かけました。

「今年は見れないと思っていた桜が見れて嬉しかった」と喜んで頂きました。

コロナ禍で、いろんな事が制限され、外出も難しいですが、その中でも出来る事を見つ
け少しでも楽しんで頂けたら、と考えています。

5月：こどもの日・梅シロップ作り

こどもの日にスタッフの子供たちに来てもらい、お手伝いを通し

1日ひなたの利用者様と過ごしてもらいました。普段、子供と過ごされる事が少ない方が多い為、一緒に折り紙を折ったり、お話をしたりと、とてもいい時間が過ごせた、と喜んで頂けました。「次はいつ連れてきてくれるの?」ともうリクエスト頂いています。

6月：ひなた畑の野菜収穫

ひなたの敷地内には、小さな畑があります。

今年の春先に畑を耕すところから利用者様と一緒に行いました。気候のいい日に利用者様と一緒に草抜き等を行い、収穫できるまでになりました。以前は畑をたくさん作られていた利用者様。「久しぶりに土に触れてうれしかった」と言って頂けました。

③ 利用状況、ヒヤリハット報告

各曜日 定員18名

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
18名	18名	18名	18名	18名

登録利用者数：44名（令和3年7月10日現在）

ヒヤリハット報告

- ・おやつ作りの途中、焼く前の生地を利用者様が口に入れてしまった。
- ・手指消毒の液を利用者様が飲もうとされた。
- ・スタッフが間違えて食前と食後の薬を間違えて服薬させてしまった。
- ・転倒リスクのある利用者様が一人で中庭に出ていた。
- ・脱衣所にて着衣時バランスを崩され転倒してしまった。

④ デイサービスひなたの紹介

コロナ禍で気づいた事、ひなたでの利用者様の過ごし方などをまとめさせて頂きました。

【ご返送頂いた意見・助言】

- ・スタッフの皆さま、毎日ご苦労様です。あなた達の優しさは利用者様に必ず届き、感謝している事と思います。これからも健康に留意して頑張ってください。
 - ・今年も暑い日が続いていますが、利用者さん達の笑顔に楽しそうな様子が伝わってきます。カラオケの元気な声も聞こえてきて、思わず笑みがこぼれます。コロナ禍、大変な時、身体に気を付けて、頑張ってください。
 - ・デイサービスの取り組みについて季節を感じられる内容や利用者の方と昼食づくり等、利用者の方が主体的に取り組んで頂けるような行事を実施されていて、利用者の方がいきいきと活動されている様子が伺えました。
- 暑い日が続いております。利用者の方にも熱中症に十分気を付けて頂きますよう、お声

がけをお願いします。

・お疲れ様です。酷暑の日が続くと共に新型コロナウイルス対策にも気を抜けない毎日ですが、円滑なサービス運営を今後とも続けられるようお願いします。

・季節の特性とひなたの環境（畑作り）を利用者様と一緒にいき、一体感を持たせている所が良い。

・ヒヤリハットについて、前回は1件の報告であったが、今回は報告件数が実際の数値と思われる。詳細に記録と報告がなされている結果の為、前回の数値には、こだわることなく、職員間の情報共有など、対応、起債事項の遵守をより一層、お願いしたい。

・ひなたの紹介を読んで、一体感を利用者に持ってもらうための同じ作業と各々の個性に応じた作業や利用時間の活用などの取り組みを考える職員の皆さまの姿勢に頭が下がります。コロナ禍の中で制約もありますが、頑張ってください。